



# 2019年3月期決算説明資料

株式会社フレアス  
2019年5月17日  
東証マザーズ：7062



-  **会社概要**
-  **決算概要**
-  **トピックス**
-  **Appendix**



# 会社概要





## ■ 会社理念

人と人とのふれあいを大切にし、社会貢献すると共に、社員の物心の幸せを追求する

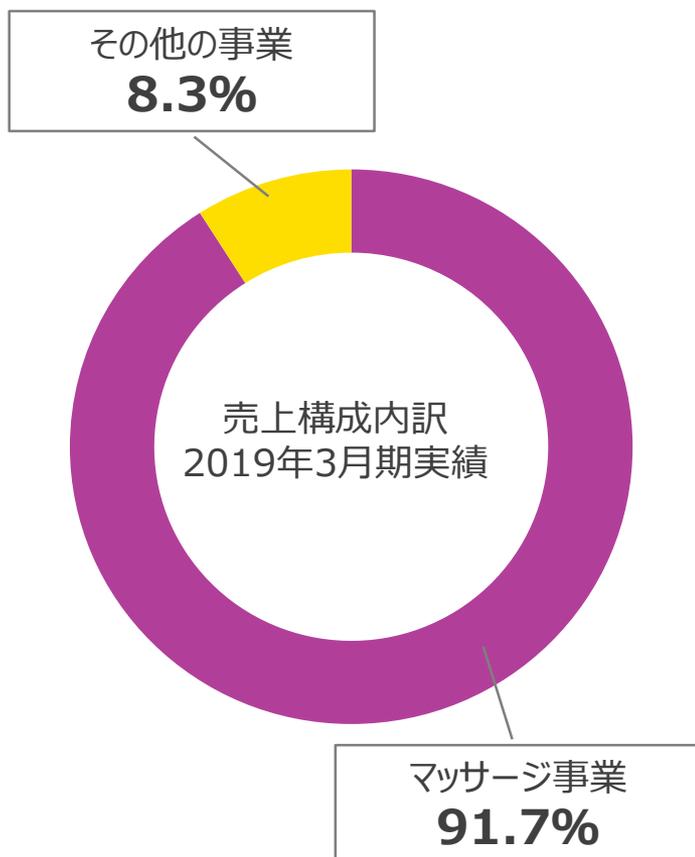
## ■ 経営ビジョン

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。



より高い技能を基に利用者の満足度を高める「高付加価値マッサージ」を、  
国家資格者であるマッサージ師によって、  
在宅訪問で提供するサービスカンパニー

- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施



## マッサージ事業

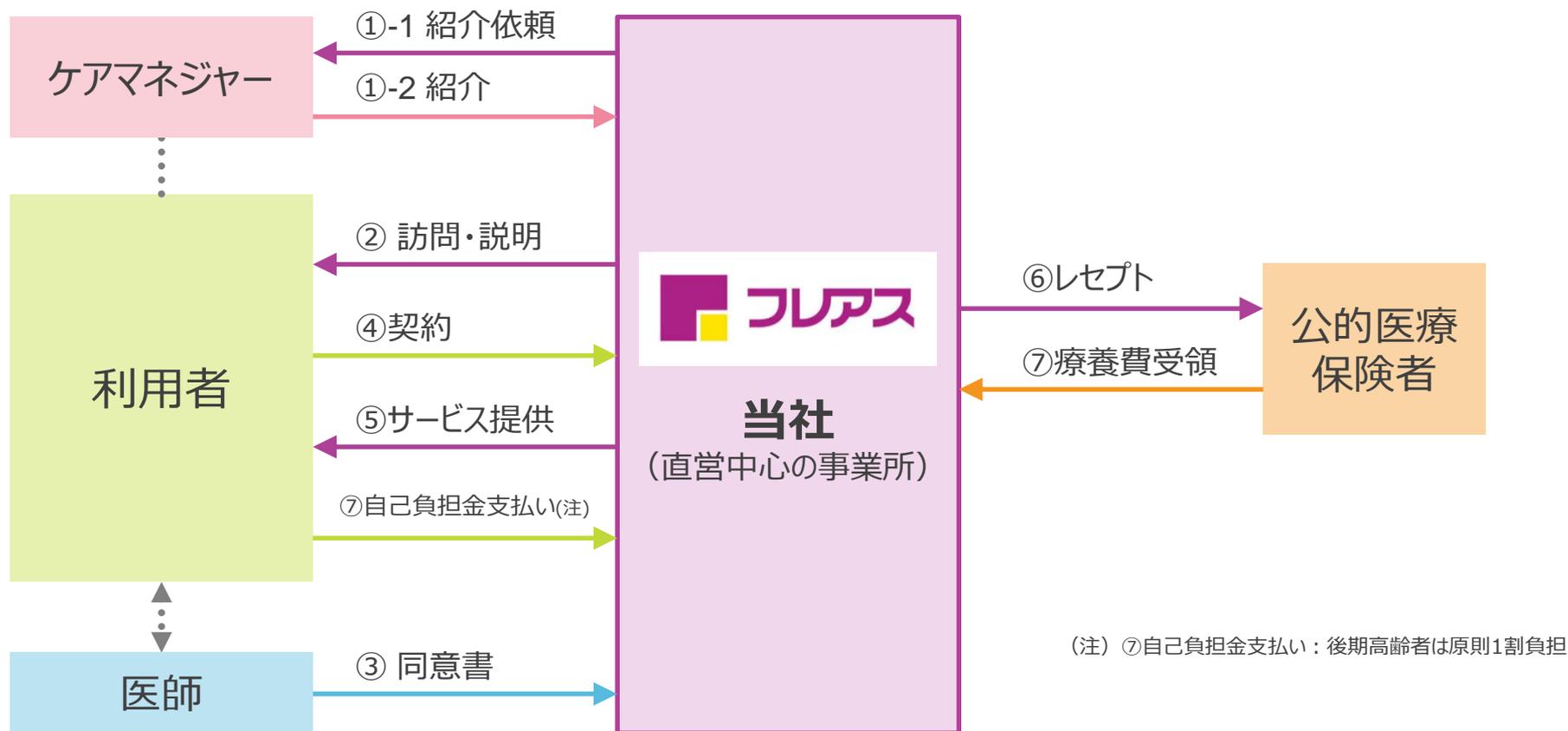
- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
  - ・ 事業所数：38都道府県 96拠点 (FC含む/2019年3月現在)
  - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」
- その他、温泉旅館・リゾートホテルでのマッサージサービスやフランチャイジーからのロイヤリティ収入など

## その他の事業

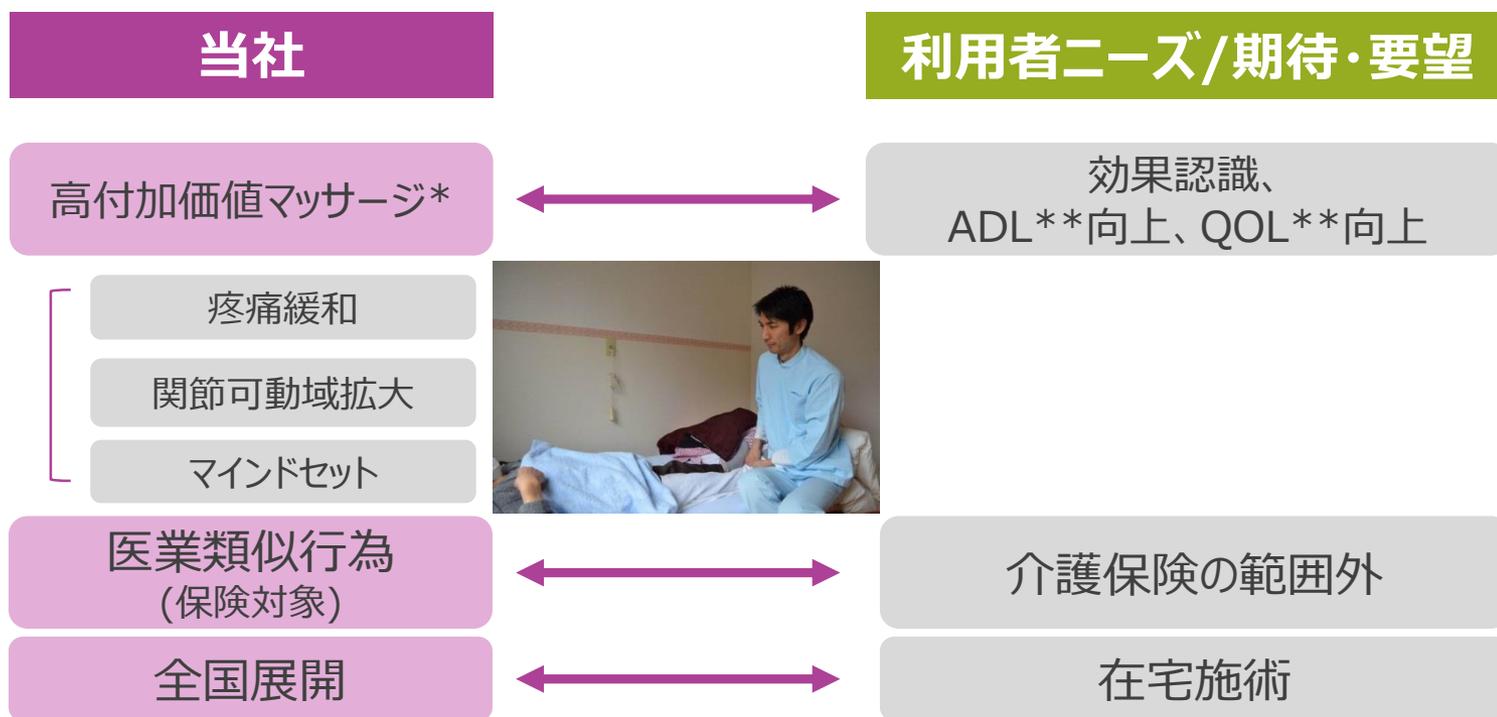
- 訪問看護事業が主体
- 訪問看護ステーションを運営(5拠点)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

# ビジネスフロー（医療保険適用型マッサージ事業）

- ケアマネジャーからの紹介を受け、医師の同意の下、訪問マッサージを施術
- 利用者より「療養費」支給申請の委任を受け、公的医療保険者にレセプトを申請・請求



- マッサージに対する利用者の期待・要望（効果不明、在宅ニーズ）などに対応
- 特に、高い技能（高付加価値マッサージ）を維持・向上する仕組みを構築(体制を確立)
- マッサージ師を正社員として人材確保し、少子高齢化で増加する潜在利用者を着実に獲得



\* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

\*\*ADL; Activity of Daily Life、QOL; Quality of Life

1

## 正社員マッサージ師の配置と技術品質の維持

- 全国各拠点にマッサージ師を手厚く配置し、丁寧な対応を実施
- 豊富な施術実績を背景とし、技術主任がOJTで技術指導

2

## 先進的なマッサージを提供

- リンパ、腱、内臓にアプローチする先進的なマッサージを施術

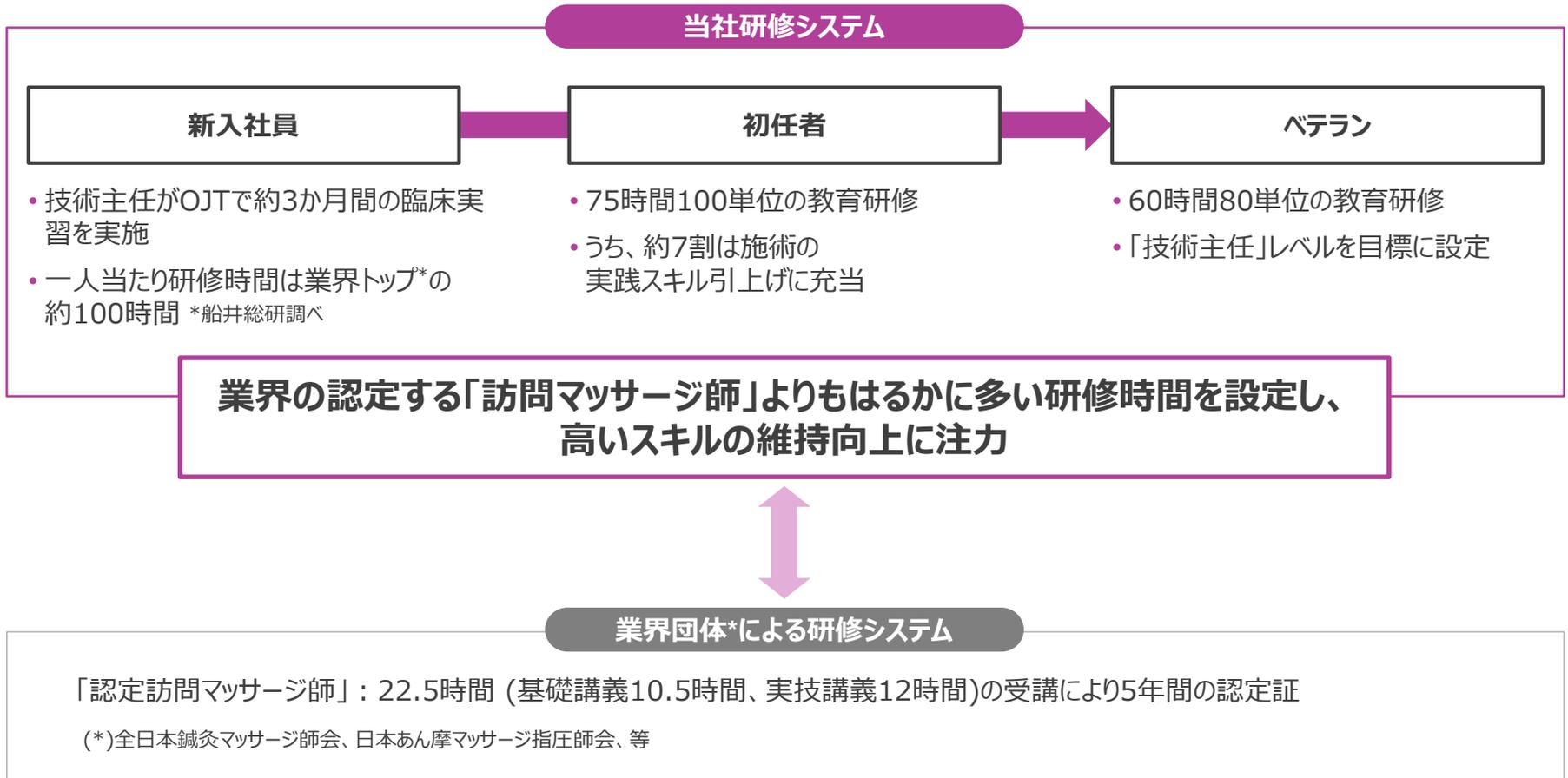
3

## 高い稼働率で高効率経営

- 高水準のマッサージ師稼働率

# 特徴 1 技術品質の維持向上に向けての研修

- 高い技術品質の維持に向けて、正社員へのトレーニング研修義務付けで対応
- 当社が社員に義務付ける研修時間は業界団体が設ける基準を大きく上回る



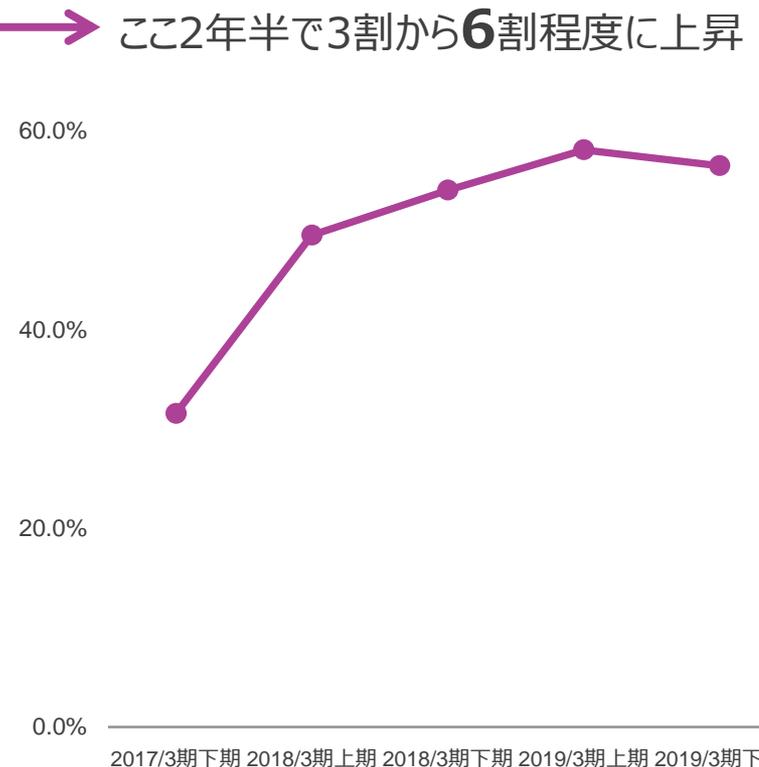
## 特徴 2 先進的なマッサージの提供

- リンパ、腱、内臓にアプローチする先進的なマッサージを施術
- 高い技術力を背景に、当社施術における「変形徒手矯正」の施術割合は漸増基調

### 高度サービス例

- **変形徒手矯正（施術単価780円/肢）**
  - 温罨法併施（加算単価80円/回）
  - 温罨法・電気光線器具の併施  
（加算単価110円/回）
  - 施術措置報告書（加算単価300円/回）
  - リンパ・ドレナージュ（自費診療）
- 
- 通常のマッサージ（施術単価340円/局所）

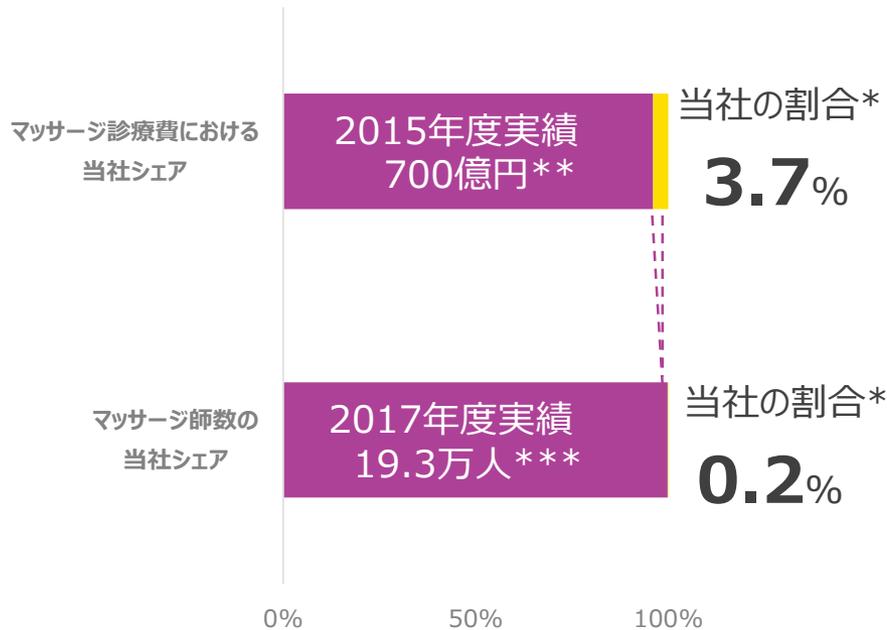
### 当社施術における「変形徒手矯正」の施術割合推移



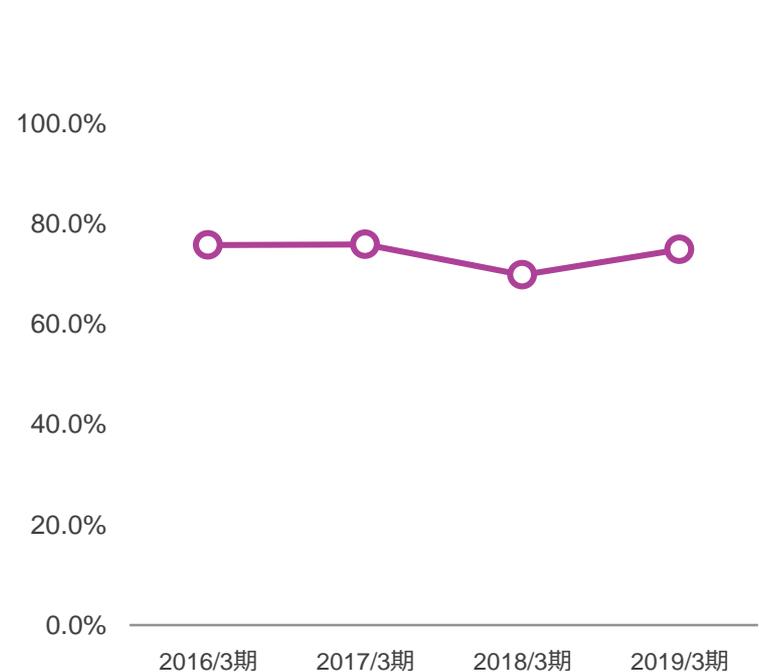
# 特徴 3 高いマッサージ師の稼働率

- 小規模・地域限定の指圧院が多い中、当社の市場シェアは4%弱程度と試算
- 一方、当社所属マッサージ師のシェアは1%未満。正社員化(固定給化)、ペーパーレス化などにより業務の効率化を図り、マッサージ師の稼働率は8割程度の高い水準

マッサージ療養費/マッサージ師における当社のシェア



訪問マッサージ師の稼働率推移



\*2016/3期売上実績で計算。当社売上には「その他の事業」を含む  
\*\*2015年度実績。「柔道整復、はり・きゆう、マッサージに係る療養費の推移(推計)」厚生労働省保健局医療課  
\*\*\*2017年度「あん摩マッサージ指圧師年度別登録者数累計」。東洋療法研修試験財団



# 決算概要



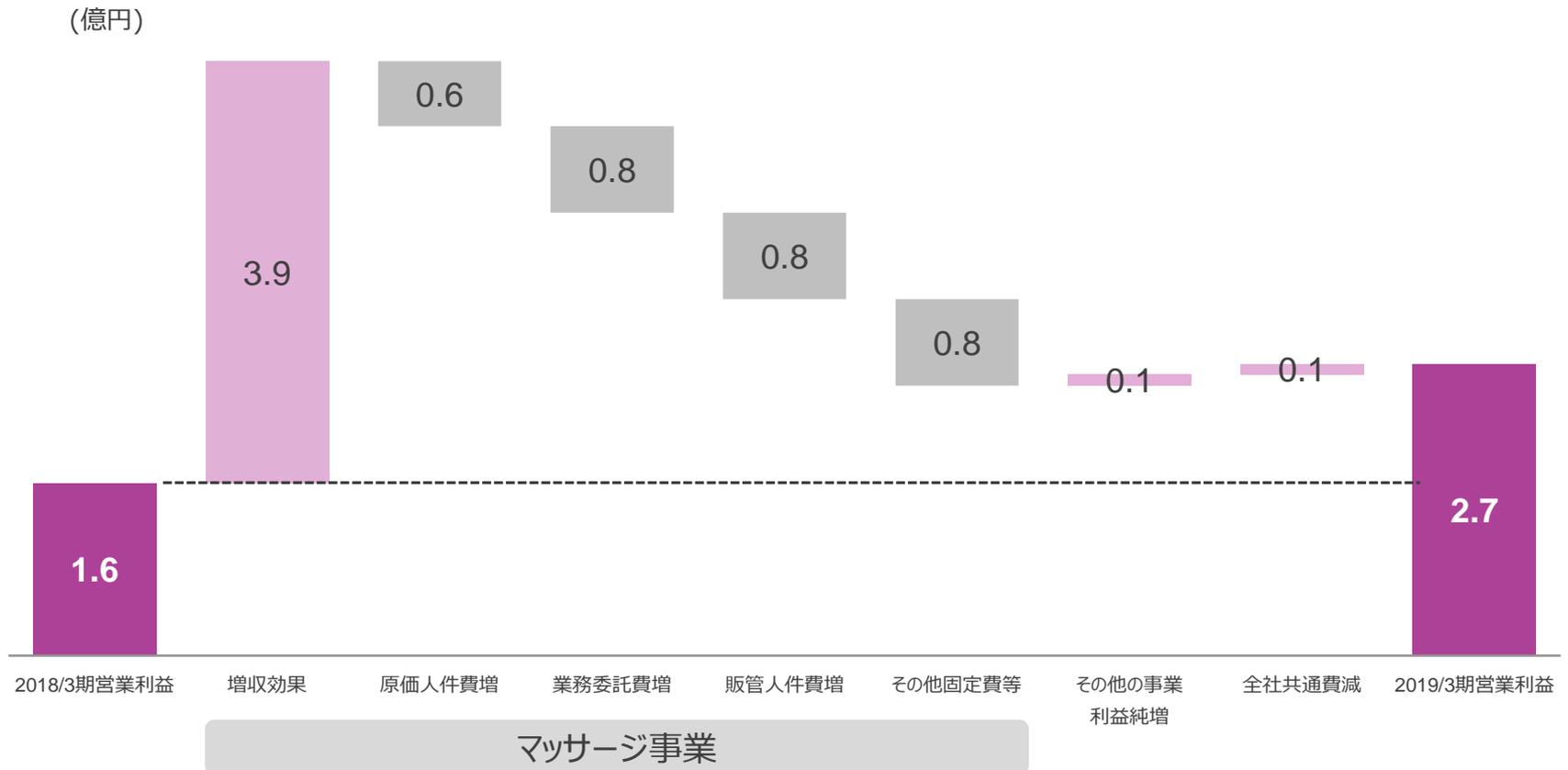
# 2019/3期決算の概要

- 売上高はほぼ直近予想通りの着地。前期比約4.3億円、13%の増収
- 営業利益、経常利益も予想上振れ。当期利益を含めて軒並み前期比60%超の増益達成

(百万円)	2018/3期	2019/3期		対直近 予想比	対前期比	
	実績	直近予想 (2019/2)	実績		差異	増減率
売上高	3,284	3,715	<b>3,711</b>	▲4	+426	+13.0%
マッサージ	2,988	-	<b>3,403</b>	-	+415	+13.9%
その他	296	-	<b>307</b>	-	+10	+3.7%
営業利益	164	251	<b>276</b>	+25	+111	+67.9%
マッサージ	733	-	<b>829</b>	-	+96	+13.1%
その他	27	-	<b>36</b>	-	+9	+35.3%
調整	▲596	-	<b>▲590</b>	-	+6	+1.0%
経常利益	193	273	<b>313</b>	+40	+119	+61.5%
当期純利益	109	187	<b>176</b>	▲11	+66	+60.6%
経常利益率	5.9%	7.4%	<b>8.4%</b>	+1.0 p	+2.5 p	-

# 営業利益の増減要因

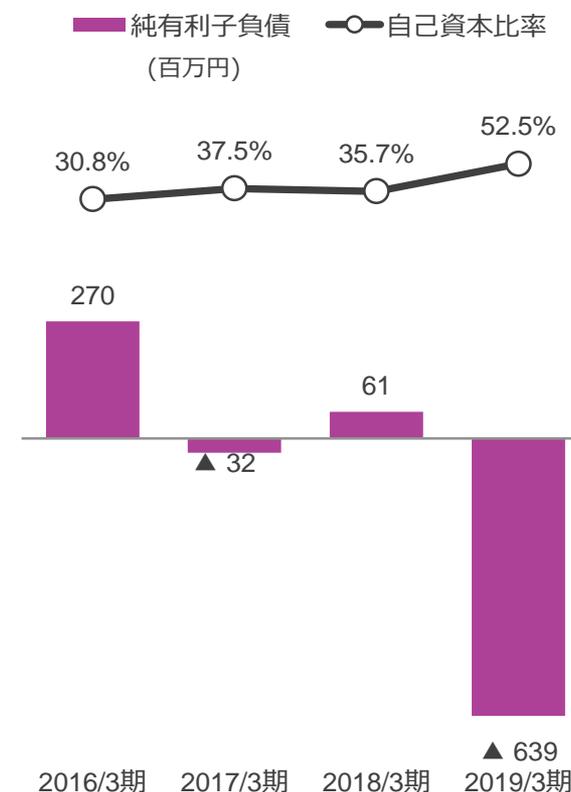
- マッサージ事業は1億円、13%の営業増益。人件費は増加したものの、売上増による増収効果で吸収
- 全社共通費は税金負担の増加を採用関連費用などの効率化で相殺し、横ばい圏で推移



# バランスシートの状況

- IPOにより財務健全性を強化。自己資本比率は52%となり、実質無借金会社に転換
- 売掛金の増加は売上増に伴うもの。流動比率は347%と資金繰り面でも余力は大

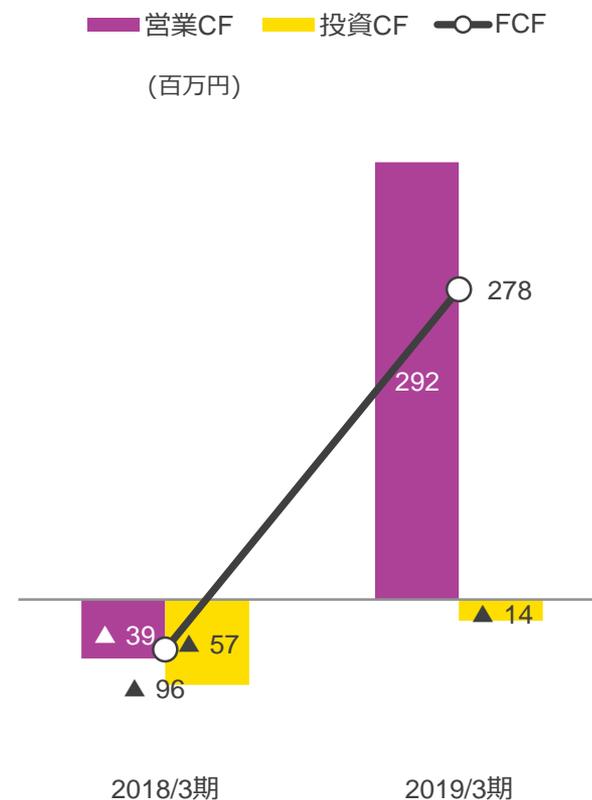
(百万円)	2018/3期	2019/3期	前期比
流動資産	1,856	<b>2,363</b>	+507
現預金	919	<b>1,365</b>	+446
売掛金	878	<b>976</b>	+97
固定資産	117	<b>127</b>	+10
有形固定資産	18	<b>24</b>	+5
総資産	1,973	<b>2,491</b>	+517
負債	1,268	<b>1,184</b>	▲ 84
有利子負債	980	<b>726</b>	▲ 254
純資産	705	<b>1,307</b>	+602
負債純資産合計	1,973	<b>2,491</b>	+517



# キャッシュフローの状況

- 税引前当期純利益の増加と法人税等支払額の減少により、営業CFは大幅増加
- FCFはほぼ借入返済に充当された格好。新株発行によって得たキャッシュの活用はこれから

(百万円)	2018/3期	2019/3期	前期比
営業CF	▲39	292	+332
売上債権の増減	▲109	▲97	+11
法人税等支払額	▲111	19	+131
投資CF	▲57	▲14	+42
有形固定資産取得	▲17	▲6	+10
無形固定資産取得	▲37	▲5	+32
FCF*	▲96	278	+374
財務CF	379	168	▲211
有利子負債増減	379	▲254	▲633
株式発行による収入	—	425	+425



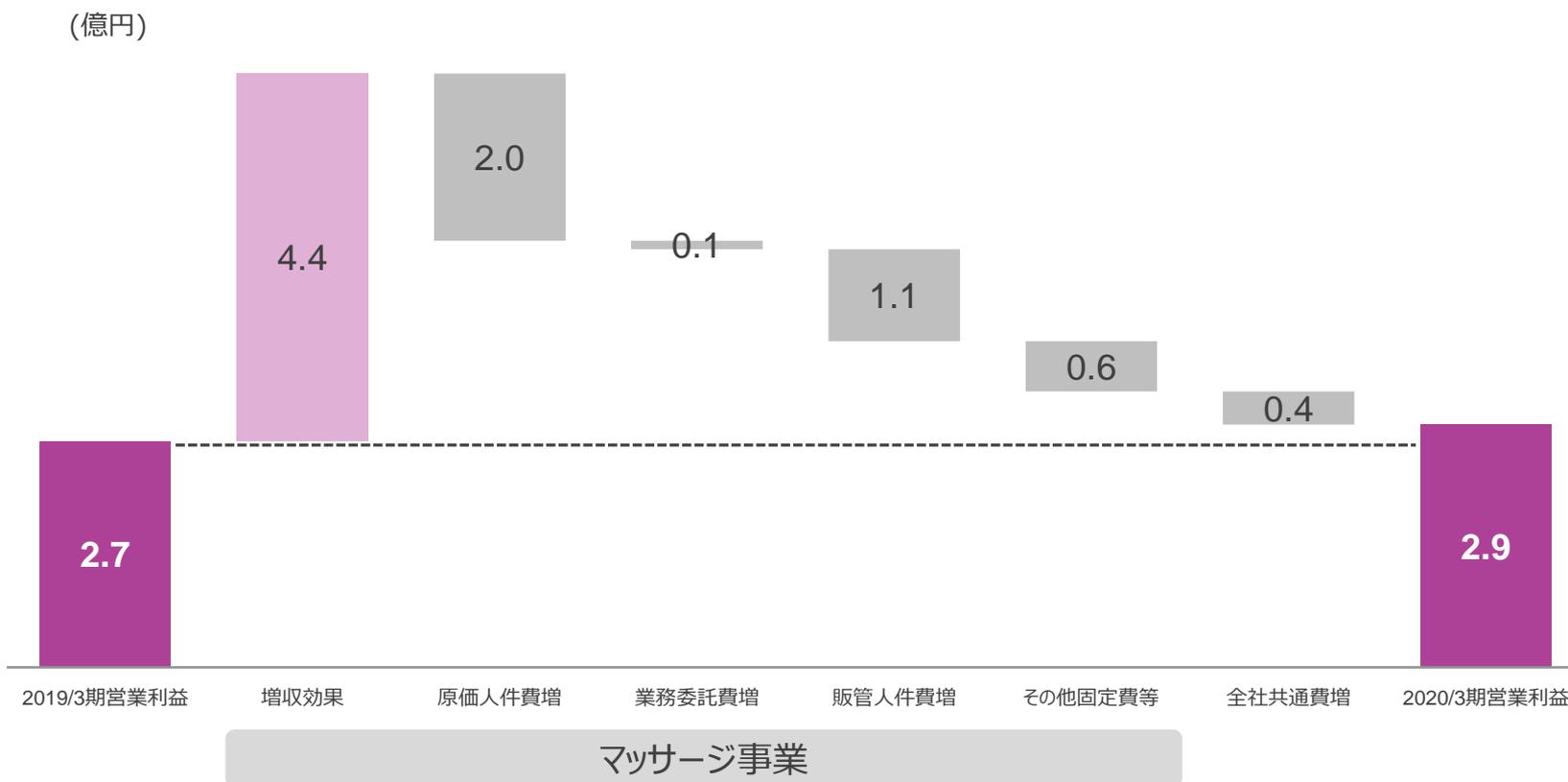
# 2020/3期決算見通し

- 2020/3期売上高は2019/3期と同様のペース（+13.0%）の増収を想定
- 一方、利益面では先行投資としての採用積極化から、増益ペースは一旦減速の想定

(百万円)	2018/3期	2019/3期	2020/3期 見通し	対前期比	
				差異	増減率
売上高	3,284	3,711	<b>4,192</b>	+481	+13.0%
マッサージ	2,988	3,403	<b>3,877</b>	+473	+13.9%
その他	296	307	<b>315</b>	+7	+2.5%
営業利益	164	276	<b>291</b>	+15	+5.4%
マッサージ	733	829	<b>891</b>	+61	+7.4%
その他	27	36	<b>32</b>	▲3	▲10.7%
調整	▲596	▲590	<b>▲633</b>	▲42	▲7.3%
経常利益	193	313	<b>333</b>	+20	+6.5%
当期純利益	109	176	<b>186</b>	+10	+5.8%
経常利益率	5.9%	8.4%	<b>7.9%</b>	▲0.5 p	—

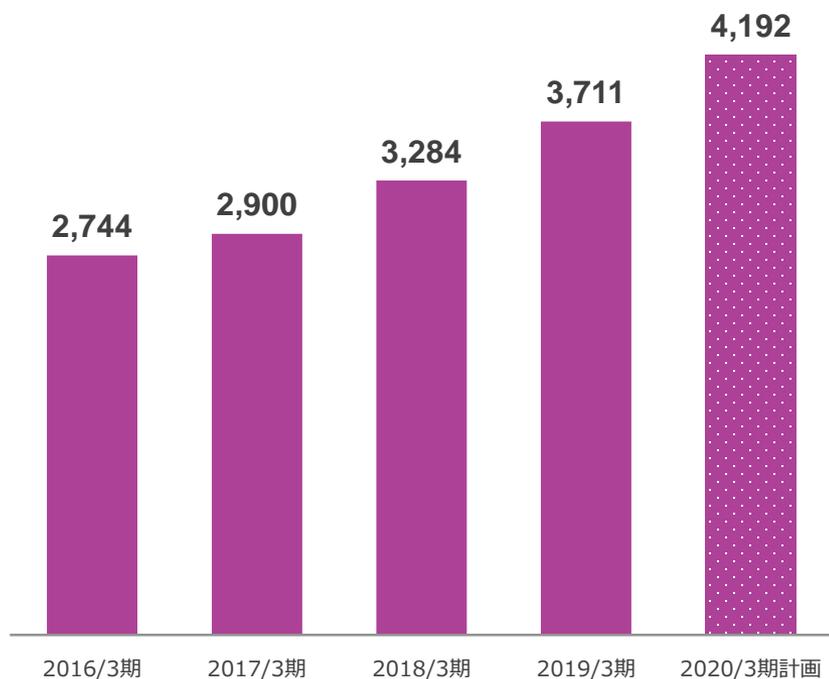
# 営業利益の増減要因（想定）

- マッサージ事業は引続き増収効果を見込むが、営業強化のため人員採用を先行させたことでほぼ相殺
- 全社共通費でも、採用効率化やIPO関連費用の消失はあるも、人件費増や償却費増、セキュリティ強化関連費用の計上といった投資費用の負担増は吸収できず

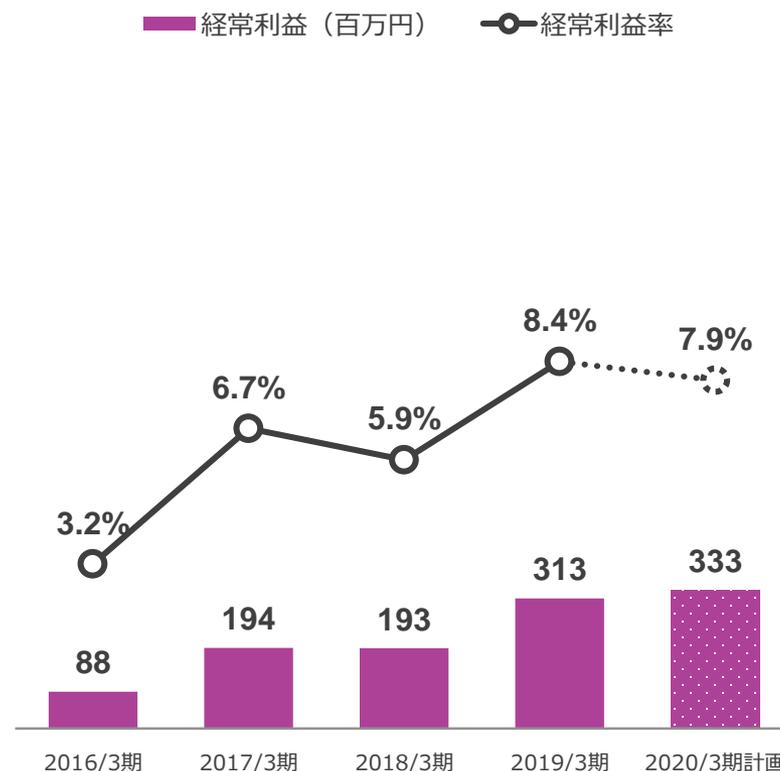


- 2018/3期以降、売上高成長率は13%を継続。増収幅は着実に拡大
- 経常利益は2期連続で過去最高を更新と予想。ただし、投資負担増から利益率は調整へ

### 売上高推移



### 経常利益推移





# トピックス



- 更なる全国展開・サービス提供エリア拡充を推進。新設出店と、既存店の規模拡大を図る
- ラグジュアリー分野への展開も継続

## 拠点数

- ◆ 全国96拠点⇒2020/3期に100拠点へ
  - ✓ 初の大阪への出店と首都圏空白エリアへの出店を計画
  - ✓ 2021/3期以降はまず関西圏、続いて中京へと順次拡大
  - ✓ 全国展開の早期達成に向け、当社理念の賛同者による、フランチャイズ展開の可能性も視野に入れて調査検討

## 人員増

- ◆ 今後の事業拡大に備え、積極的な増員を実施
  - ✓ 営業人員、マッサージ師を増員し、サービスエリア拡充により売上拡大を図る

## ラグジュアリー分野拡大

- ◆ 星野リゾートへのサービス提供施設数を13から16に3施設増加

# サービス提供エリアのさらなる拡充

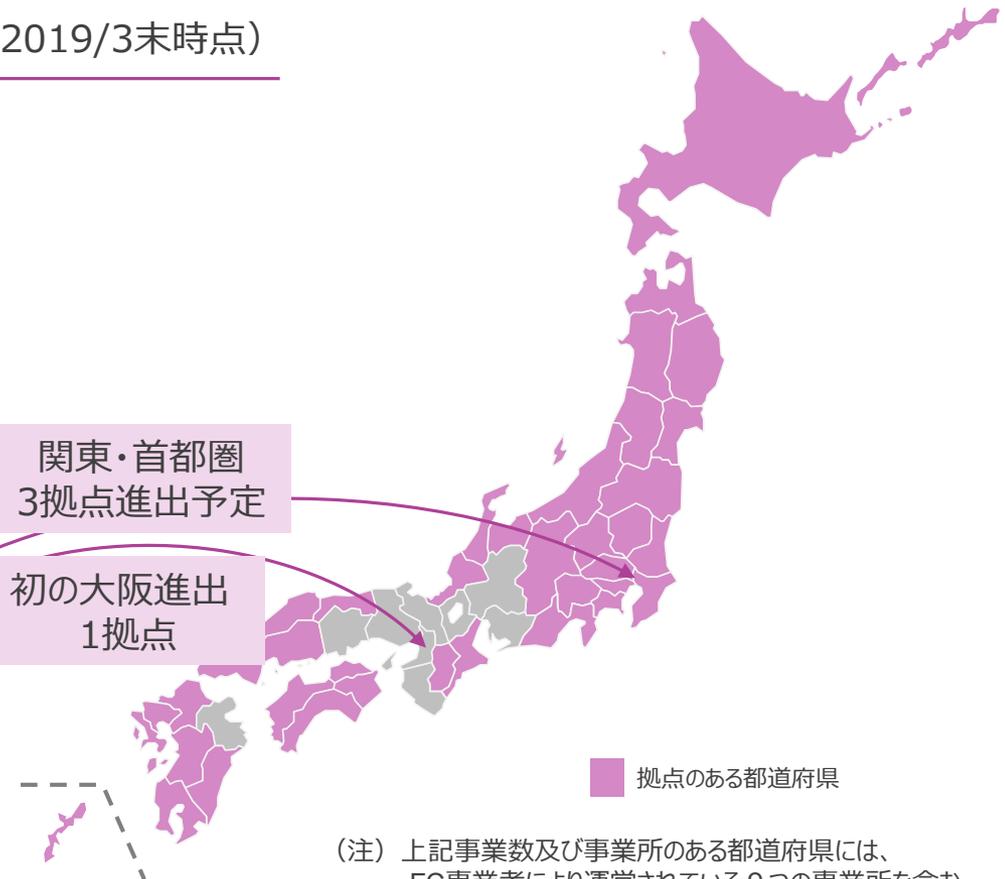
- 需要拡大基調は鮮明。潜在需要の取り込みへの準備は急務
- サービス提供空白地域、都心部を主体に、サービスエリア拡充と拠点数拡大ピッチを加速へ

在宅マッサージの拠点数 **96** 拠点 (2019/3末時点)

- 
- ・ フレアスの認知度向上
  - ・ ケアマネジャーとの連携強化
  - ・ 拠点空白地域への対応
  - ・ 都心部でのドミナント出店

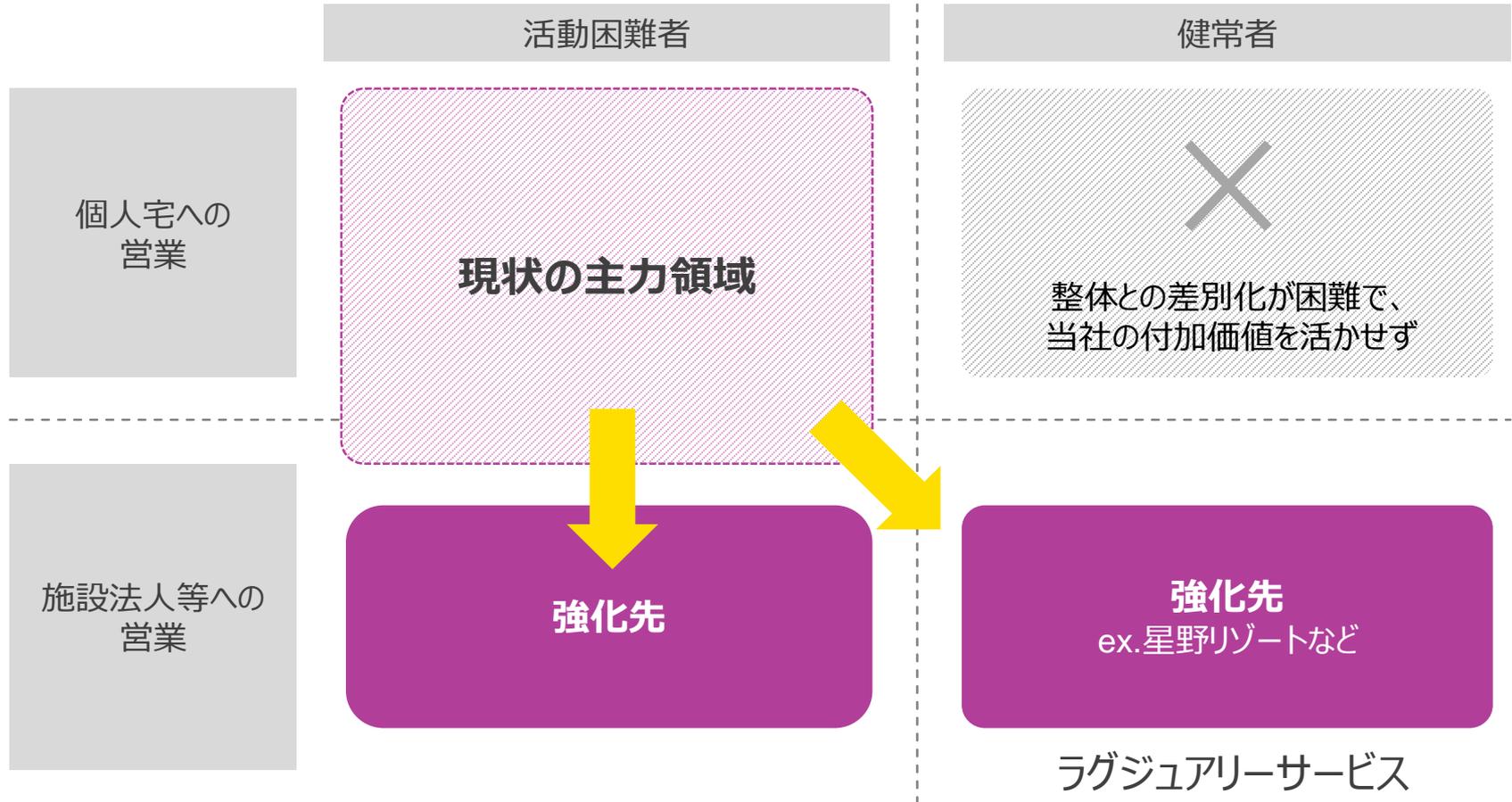
**潜在需要取り込みに向けて  
サービス提供エリアと、拠点数  
拡大ピッチを加速**

2020/3期  
100拠点計画



(注) 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている9つの事業所を含む

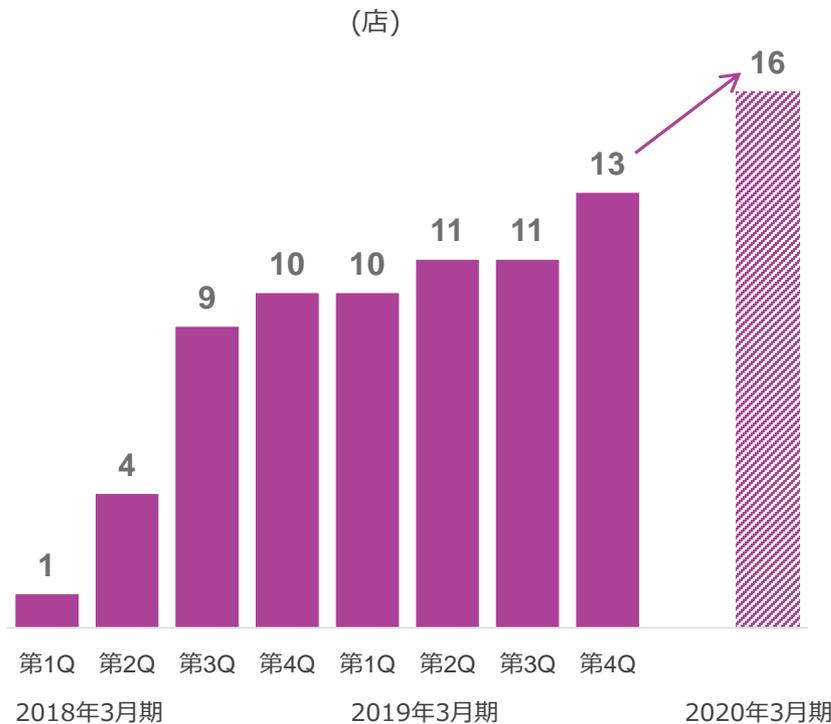
- 法人営業の専門部署を設置し（2018年4月）、施設や企業を通じた営業を強化
- 在宅マッサージでは施設法人へのアプローチにより在施設個人を強化。「施設死」増加へも対応
- 星野リゾート等の法人と直接契約する新規事業として、ラグジュアリー分野へのアプローチも強化



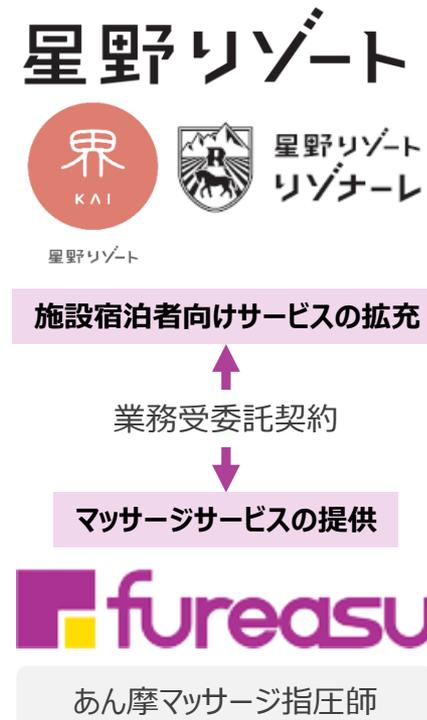
# ラグジュアリー分野への展開①

- 星野リゾートと提携し（2017年4月）、現在は温泉旅館ブランド「界」（独占契約）、リゾートホテル「リゾナーレ八ヶ岳」でマッサージサービスを開始
- 自費施設となる健常者を対象としたビジネスへの橋頭保とし、自費施術比率引上げに貢献

ラグジュアリー分野 サービス提供施設数の推移



星野リゾートとの業務受委託契約



## ラグジュアリー分野への展開②

- 保険適用施術中心のビジネスモデルからラグジュアリー分野にもビジネス領域を拡大
- 2019/3期の自費施術比率は5.5%。前期の3.8%から拡大を達成
- 今後はオフィスマッサージ分野を軸にさらなる引上げを狙う

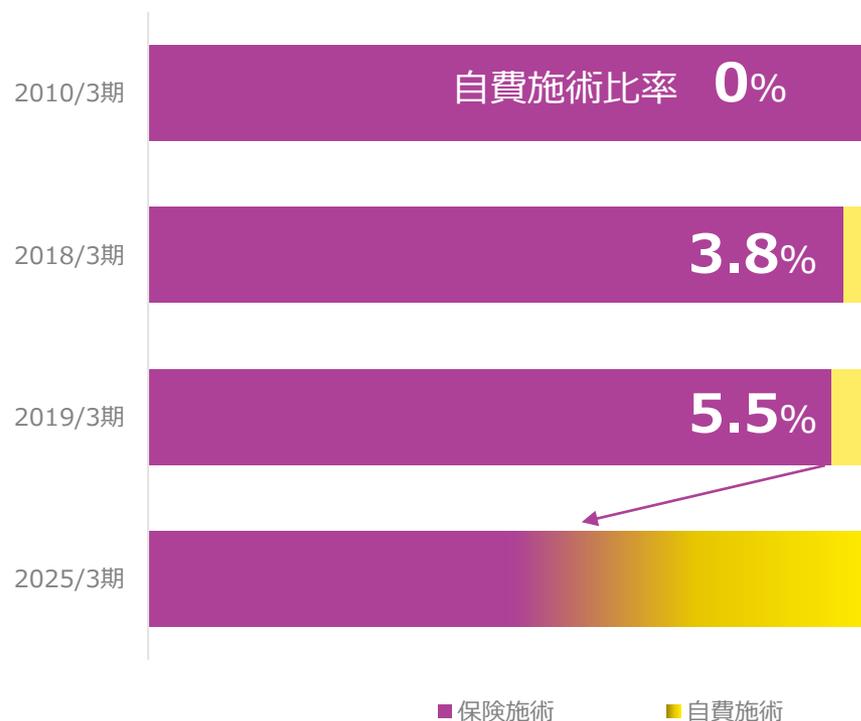
ラグジュアリー分野への展開例



(写真上)  
星野リゾート

(写真左)  
オフィスマッサージ

保険施術と自費施術





# APPENDIX



社 名	株式会社フレアス fureasu Co.,Ltd			
代 表 者	代表取締役社長 澤登 拓			
創 業 年 月	2000年7月（設立：2002年4月）			
本 店 所 在 地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地			
本 社 所 在 地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F			
資 本 金	222,750（千円）〔2019年3月31日現在〕			
役 員 構 成	代表取締役社長	澤登 拓	常勤監査役(社外)	赤池 雅司
	取締役	川上 詠昌	常勤監査役	飯野 由利
	取締役	奈良 香澄	監査役(社外)	日浦 正貴
	取締役	中野 剛	監査役(社外)	古賀 望
	取締役(社外)	関根 竜哉		
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージ事業</li> <li>・その他の事業</li> </ul>			
売 上 規 模	3,711,638（千円）〔2019年3月期〕			
従 業 員 数	617名〔2019年3月31日現在〕			
拠 点	38都道府県 102拠点(在宅マッサージ96*、訪問看護5、訪問介護1)〔2019年3月31日現在〕			
総 資 産	2,491,623（千円）〔2019年3月31日現在〕			

\* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている9つの事業所を含む

# 医療及び医業類似行為等の一覧

	病院	接骨院	鍼灸院	マッサージ院	理学療法	整体
施術者	医師	柔道整復師	鍼師・灸師	按摩マッサージ師	理学療法士	整体師
資格 (根拠法)	国家資格 (医師法)	国家資格 (柔道整復師法)	国家資格 (あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律)		国家資格 (理学療法士及び 作業療法士法)	民間資格 (一)
行為	医療	医業類似行為 (施術)	医業類似行為 (施術)		医療 (リハビリ)	無資格行為 (矯正)
療養費*	42.4兆円	3,789億円	394億円	700億円	-	-

\*2015年度実績。「柔道整復、はり・きゆう、マッサージに係る療養費の推移(推計)」厚生労働省保健局医療課

## マッサージとは

- 国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される**医業類似行為**
- 医療上、マッサージを必要とする症例について医療保険が適用

## 施術

治療院等の専門の施術所の他、自宅や施設への訪問による施術  
保険適用の場合は、医師の同意書(指示書)が必要

## マッサージ師

指圧院や病院などの法人に勤務。あるいは、個人事業主として開業



**無資格行為**（整体・カイロプラクティック・足のツボ療法・リフレクソロジー・リラクゼーションなど）  
「マッサージ師」資格は不要である一方、医業類似行為は許されず

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場

# 財務ハイライト

決算年月		2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003
当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)

\* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。  
2017年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算



## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>  
株式会社フレアス  
03-6632-9210  
[ir@fureasu.jp](mailto:ir@fureasu.jp)